

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	地域防災力向上事業（海辺の森等津波避難対策） 【事業費予算 900千円】
事業目的・概要	津波浸水想定区域周辺の集客施設を抱える地域において、利用者が速やかに避難できるように、避難場所や避難経路をわかりやすく伝える方をワークショップにより検討し、避難誘導看板などを設置する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成28年5月24日(火) ・参加者：16名（南浜地区コミュニティ協議会、海辺の森指定管理者、島見浜茶屋組合） ○避難誘導看板の設置など <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーLED照明付避難誘導看板1基（海辺の森キャンプ場入口） ・避難誘導看板3基（島見浜海水浴場駐車場） ・誘導表示板4基（避難誘導路入口） ・避難誘導パネルの表示（海の家7施設） ・避難路マップの配布（海辺の森キャンプ場利用者） ○看板除幕式 <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成28年7月15日(金) ・参加者30名（南浜地区コミュニティ協議会、島見浜茶屋組合など）
事業の評価 <small>（地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価 など）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○北区の集客施設の1つである島見浜海水浴場と海辺の森キャンプ場を抱える南浜地区は県の津波浸水想定区域に一部が入ることから、安全対策を高めるために議論を重ね、視覚的に訴える看板の設置などを検討してきた。 ○地域住民や施設管理者などとワークショップを開催し、利用者が速やかに避難できるように、避難場所や避難経路をわかりやすく伝えることができる看板の表示内容や設置場所を決定し、設置することができた。 ○看板を設置するとともに、施設管理者も施設内に避難誘導パネルを表示したり、利用者に避難路マップを配布するなど、災害時の避難に対する防災意識が高まり、利用者に対するソフト対策も向上した。 ○ワークショップを開催したことで、災害が発生した時に地域外の避難者も地域の避難所に集まることが分かり、避難所運営なども含めた地域の防災意識がさらに向上した。 ○利用者は、土地勘がなくても避難場所と避難経路がわかりやすく表示してあることから、安心して施設を利用することができた。 ○利用者を災害から守り、安心安全をPRすることで、集客施設としてのグレードアップを図り交流人口の増加に寄与した。 ○今後、外国人に向けた避難場所での情報提供方法についても、検討課題として必要と思われる。
備考	